

東芝照明プレジジョン(株)福島事業所 サイトレポート情報

所在地	: 福島県福島市土船字町田1-1
敷地面積	: 20,634㎡(建家面積: 10,001㎡、緑化率: 24%)
従業員	: 88人(2016年3月現在)
主要製品	: 照明部品、産業部品
ISO14001認証取得日	: 1999年5月26日
最新更新年月	: 2015年3月31日 (ISO認証番号: E1102)
有効期限	: 2018年3月30日



ごあいさつ

東芝照明プレジジョン(株)福島事業所は、吾妻連峰の麓に位置しており、水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた立地条件の中で、事業を展開しています。事業所では、各種樹脂成形部品(照明用・車載用)、蛍光灯用口金の製造を行っており、環境保全活動に従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 氏家一教 事業所長

2015年度の環境の主な取組み

1. 環境マネジメント

- (1)ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・2015年3月認証更新、2016年2月定期サーベイランス認証継続
- (2)環境保全体制の充実
- (3)法令、条例の順守

2. 事業活動における環境への取組みの改善

- (1)地球温暖化防止
 - ・エネルギー起源CO₂総排出量生産高原単位 目標108t-CO₂/億円(前年2%削減) 実績107t-CO₂/億円(1%削減)
 - ・物流CO₂総排出量生産高原単位 目標1.25t-CO₂/億円(前年1%削減) 実績1.80t-CO₂/億円(目標未達)
- (2)資源有効活用
 - ・廃棄物総発生量生産高原単位 目標6.32t/億円(前年2%削減) 実績7.26t/億円(目標未達)
 - ・最終処分率 目標0.5%未満 実績0.1%
 - ・水受入量生産高原単位 目標0.14千m³/億円(前年2%削減) 実績0.13千m³/億円(7%削減)
- (3)化学物質管理
 - ・化学物質取扱量生産高原単位 目標0.032t/億円(前年1%削減) 実績0.028t/億円(13%削減)

3. 環境コミュニケーション

- (1)全員参加・啓発活動の展開
 - ・安全環境ニュースによる環境啓発活動
- (2)地域とのコミュニケーション
 - ・生物多様性の取組み(準絶滅危惧種の保護)
 - ・構外清掃活動

福島事業所で製造する環境調和型製品の紹介



誘導灯用樹脂成形部品



車載照明用樹脂口金
蛍光灯用樹脂成形部品



蛍光灯用口金

東芝照明プレジジョン(株) 環境方針

東芝照明プレジジョン(株)は、福島県福島市に福島事業所、新潟県長岡市に新潟事業所、神奈川県川崎市に川崎事務所を置き、事業所及び工場は阿武隈川、信濃川の清流に隣接し、水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた場所に立地している。一方、川崎事務所は東京都との境を流れる多摩川の恵みを受けた、「世界的な先端産業都市」で営業活動を行なっている。

当社は、東芝及び東芝ライテックグループの環境基本方針にある「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防などに関する環境目的及び目標を設定して環境活動を推進します。
3. ISO14001規格に適合した環境マネジメントシステムを構築し、監査に実施や活動のレビューにより、環境経営の継続的な改善を図ります。
4. 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
5. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。
6. 当社の事業分野であるエネルギーデバイス分野、産業分野、照明分野の製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティ社会実現を目指した環境経営を推進します。
 - (1) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電気、天然ガス等の使用量を削減し、CO2排出量を抑制します。
 - (2) 水質・騒音などに関わる施設の管理の徹底と設備の改善を行ない、環境に与える影響を最小にすると共に、事故等の予防措置に努めます。
 - (3) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
7. 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会へ貢献します。
8. 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。またグローバル企業として、東芝グループと一体となった環境活動を推進します。

2016年 4月1日
東芝照明プレジジョン株式会社

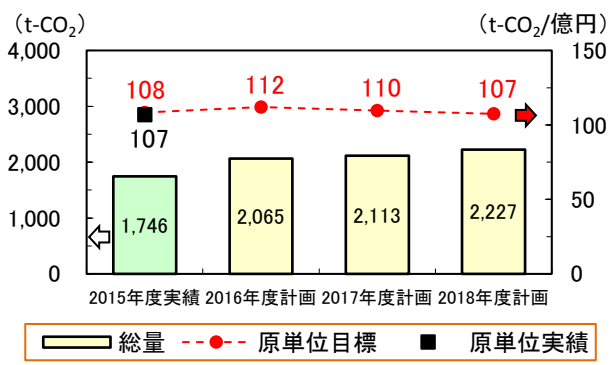
岩田 進一

事業活動における環境への取組みの目的・目標

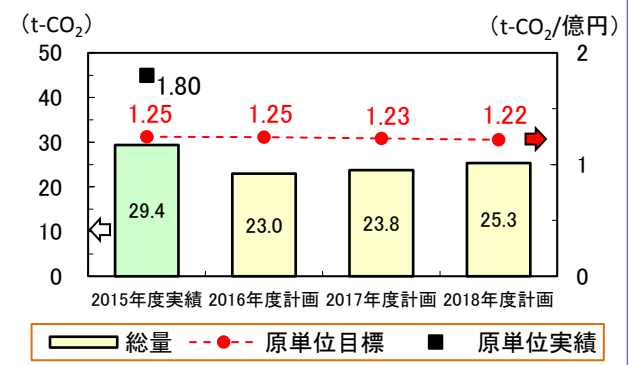
取組み項目		2016年度	2017年度	2018年度
地球温暖化防止	エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	112	110	107
	物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	1.25	1.23	1.22
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	6.73	6.59	6.45
	最終処分率の管理(%)	0.35	0.35	0.35
	水受入量原単位の改善(千m ³ /億円)	0.14	0.13	0.13
化学物質管理	化学物質取扱量原単位の改善(t/億円)	0.031	0.031	0.031

環境負荷データ

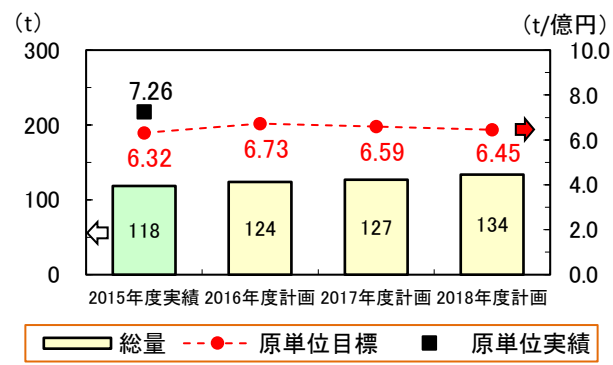
エネ起源CO₂



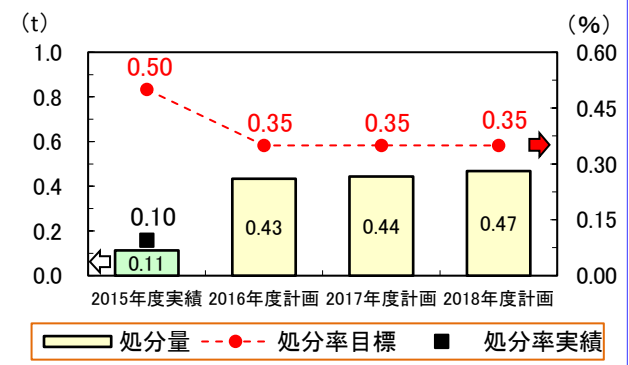
物流CO₂



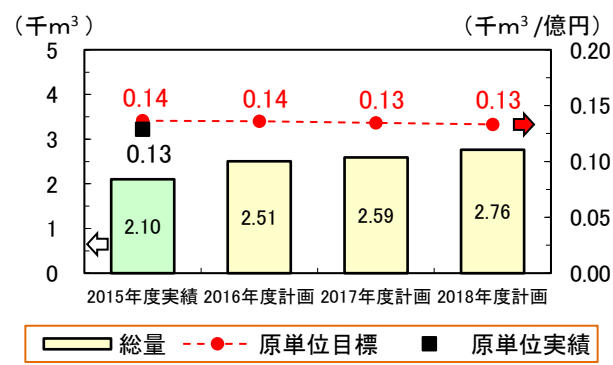
廃棄物総発生量



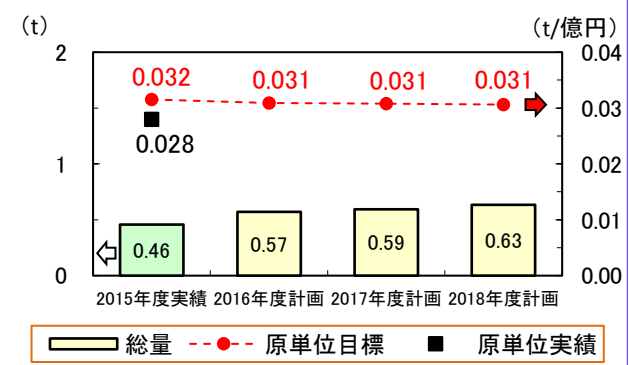
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



環境コミュニケーションの紹介

<植林活動>

福島県内のグループ会社4社(北芝電機、川俣精機、東芝アルパインオートモティブテクノロジー、当社)と協力して、福島市佐原地区にて、植林活動を実施しています。
今回の活動では、2000本のスギを植林しました。

(実施概要)

- ・日時:2015年10月17日
- ・場所:福島県福島市佐原地区
- ・参加人数:40名(グループ会社全体では200人)



植林活動の様子



集合写真

<事業所周辺の清掃活動>

当事業所では、毎年、環境月間に合わせ事業所周辺の清掃活動を実施しています。
今回も清掃活動を実施し、20kgの廃棄物を回収しました。
今後も地域活動の一環として、継続していく予定です。

(実施概要)

- ・日時:2015年5月20日
- ・参加人数:50名



清掃活動の様子



集合写真

生物多様性の取組み

1. 指標種の選定

指標生物	指標生物の希少性
ナミアゲハ	—
ヒメギフチョウ	環境省準絶滅危惧種（NT）

2. 事業所内での保護・育成活動

福島事業所は、阿武隈川水系の須川流域に立地しており、須川と荒川に囲まれた平地であり、水辺が豊富な環境にあります。

事業所周围には、あづま総合運動公園などのまとまった緑地も多く、中小の寺社が散在していることから、在来の飛来生物も多いと推測されています。

そこで、構内で緑地の一角にアゲハ幼虫の避難場所を設け、事業所を中心としたアゲハチョウ生態系ネットワークを構築しました。

また、アゲハチョウの他に、地域固有の蝶（ヒメギフチョウ）の呼び込みもしており、事業所周辺に生息する蝶を呼び込むために食草（ユズ、サンショウ）を植えています。



ナミアゲハ



サンショウ



ヒメギフチョウ



ユズ